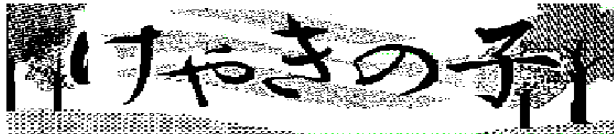


学校
通信



令和2年8月3日
大田区立石川台中学校
発行 経営支援部

人の良いところを見る



校長 村上 昭夫

我は当（まさ）に人の長処（ちょうしょ）を視（み）るべし。人の短処（たんしょ）を視ること勿れ、短処を視れば、即ち我れ彼れに勝り、我れに於て益無し。長処を視れば、即ち彼れ我れに勝（まさ）り、我に於て益（えき）有り。

【口語訳】人を見るときは、その人の優れたところを見るべきで、短所を見てはいけない。短所を見れば自分が優れているので、おごりの心が生じ、自分のためにならない。だが、長所を見れば、相手が自分より優れていることがわかり、これに啓発され、励まされるから、自分の利益となる。

（佐藤一斎 「言志晩録」 岬龍一郎編訳より）

学校が再開し、生徒は良好な人間関係を作ろうと学校での教育活動に臨んでいます。かかわりが深くなっていくにつれ、人との問題も出てきます。それらの経験から人として成長し、「これからの社会に貢献する人間性豊かで品格あるたくましい人」として育てていくわけです。暖かく見守り、積極的に話を聴き、伝えるべきことを伝えていきたいと考えます。「三者面談」が良い機会となるよう、教職員は準備を重ねています。冒頭の言葉のように、短所ばかりを見るより、人の良いところをみて、生徒の持っている力を引き出し伸ばしたいと思います。保護者の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

○夏季休業日近し

夏季休業日が近づいています。例年より短くなりますが、学びを途切らすことなく、夏季休業ならではのことや楽しみのある毎日を送ってほしく思います。配布される「夏休みの生活記録」を活用してください。

○心より御礼申し上げます。

本校の教育活動に対する、ご理解とご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。安心、安全な夏季休業をお送りいただきたくお願いいたします。



保健室より



養護教諭 渡邊 亜優

保健室から毎月発行する「ほけんだより」には、学校・保健室の様子や、時期に合わせた健康情報などを載せています。月の初めに配布し、特に注目して欲しい項目は各クラスで読み合わせを行っています。生徒の健康を保持増進すること、また保護者の方が学校の様子や健康情報を知り、会話のタネになればと言う思いも込めて作成しておりますので、是非ご家庭でも親子でお読みいただけたら幸いです。

現在生徒たちは、感染症と上手に付き合いながら、元気に学校生活を送っています。しかし保健室で生徒と関わる中で、体調の崩しやすさ、怪我のしやすさ、心の不調の起きやすさなど、少なからず心身の健康に影響が出ていることを感じます。学校での活動はこまめな水分補給の呼びかけ、手洗いの徹底、消毒活動などを通して、全員が安心・安全に過ごせる環境づくりを実践しているところですが、不調を起こしにくい心身の状態を整えるため、ご家庭でも栄養、睡眠をしっかりとれるよう引き続きサポートをお願いいたします。

これからますます暑くなり、熱中症が心配な時期です。先日の健康委員会では、8・9月の健康目標を「マスクをしていると熱中症になりやすいので、水分補給をこまめにしよう」に決めました。これは生徒自身が感染症対策と熱中症対策を両立していかなければならないことを自覚して立てた目標です。この目標に習って体調の自己管理がきちんとできるように、保健室からも支援して参ります。熱中症0を目指して、今年の夏も元気に乗り切りましょう。



3年生の夏

3年生にとっては義務教育最後の夏となりました。運動部に所属している生徒は本来なら5月～7月にかけて開催されている夏の大会に参加している時期です。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、残念ながら大会そのものは中止となりましたが、3年生運動部最後の舞台としての代替試合が開催されています。練習もままならなかったり、参加人数等の関係で出場できない運動部もあつたりしますが、3年生のみなさんが部活動を頑張ってきたことに変わりはありません。自信をもって、最後の夏に挑んでください。

また、この夏は、進路に向けての準備等が例年と異なるというような不安があるかもしれません。わからないときや困ったときは遠慮なく保護者や先生・信頼できる大人に相談してみましょう。こういった経験ひとつひとつがみなさんの力になっていくはずです。

(副校長 小菅みちる)

